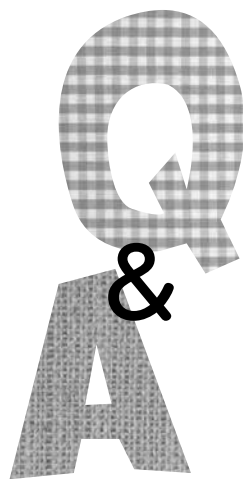


特集

新版

『国語』教科書



いよいよ全国の教室で、新しい教科書を使った学習が始まります。

新版教科書では、これからの時代を担う生徒たちが言葉の力を育んでいける工夫を、これまで以上に取り入れました。

今号では、先生方からいただいたご質問に答える形で、その一部をご紹介します。さらに、新教材を使った授業のアイデアを、編集委員の先生方にお聞きしました。



光村図書出版 中学校国語編集部

「価値創造」的な 思考力を育むために

——新版教科書に込めた願い

今回は、東日本大震災後、初めての教科書改訂となりました。社会の情勢が大きく変動していく中で、今、生徒たちに出会わせたい教材、身につけさせたい力は何かが、今回の改訂の出発点でした。

これから新しい時代を担う人々は、社会の流れに追隨していくだけでなく、試行錯誤を繰り返しながら、流れを変えようとする意志をもつことがますます必要になってくるのではないだろうか。そのために、既存の価値や考え方にとられず現状を変えていけるような思考力や、豊かな感性・情緒をもって対象に向かっていく力を育むことを改訂の主眼としました。

また、昨今、「アクティブ・ラーニング」という言葉をよく耳にしますが、そのおおもとにあるのは、生徒が「なぜだろう」と考えたり、「やってみたい」と思ったりする心の働きだと思います。今回の改訂では、

学習意欲を高め、思考を活性化させる手立てとなるような教材や活動も盛り込みたいと考えました。

以上の考えに基づき、次の三つを改訂の基本方針として掲げています。

一 身につける力が はつきりわかる教科書

まず、それぞれの教材でどんな力を身につけるのかを明確に示し、最後にそれが確実に身についたかどうかを振り返ることができるような教材構成を工夫しました。また、その力が他教科や日常生活でどう活用できるのかをはつきりと示しました。

二 言葉への感覚が 豊かに深まる教科書

一年冒頭の「言葉に出会うために」(P13)には次のような呼びかけを掲げました。

言葉の数だけ、世界は豊かに見えてくる。
言葉の数だけ、未来は希望に満ちてくる。
言葉の数だけ、自分の可能性が開かれる。
このように、言葉を通して世界を見つめ、感じ、創造していくために、語彙力を高め、語感を磨く教材化の工夫をしました。

三「生きること」「生き方」を 考える教科書

現代社会を生き抜くうえでのよりどころとして、同時代を生きる人々の考え方に触れ、強靱でしなやかな心を育む羅針盤となるような教材を豊富に掲載しました。

本特集では、こうした方針のもとで編集した教科書について、効果的にお使いいただくためのヒントをいくつか取り上げていきます。ぜひ、日々の授業の参考にしていただければと願っています。

特集

新版『国語』教科書



Q1

身につける力をわかりやすく示す構造上の工夫がありますか。

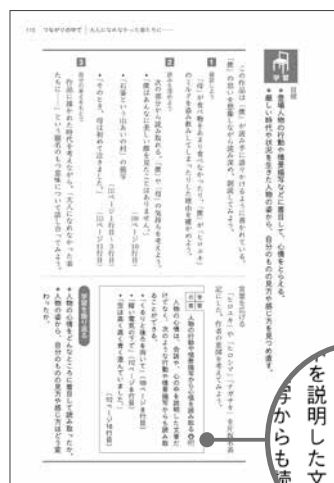
A1

「文学的（説明的）な文章を読むために」を設け、「学習の窓」とリンクさせながら、学びの観点を系統的に習得できるようにしました。

教科書巻末の折り込みに、文章をより深く読み取るための観点となる学習用語を、当該学年の教材の用例とともにコンパクトにまとめました。

「学習の窓」とリンクしているの、日々の授業の中で「観点を意識して読む」「読み方を整理する」などの活用が可能です。また、他の作品と読み比べるときや、文章を批評するときの観点にもなります。

▼学習の窓（二年 P115）



▼巻末折り込み（二年 P327 328）



登場人物の心情

登場人物の心情は、置かれた状況を踏まえて、そのような心情になった理由と共に捉える。場面ごとの心情を押さえたなら、作品全体で心情がどのように変化しているかも捉えよう。

心情は、次のような点から考えられる。
感情を表す言葉や心の中で思ったことが語られる部分

例「うれしい」「悲しい」「満足」「不満」
「胸がいっぱいだ」「気をもむ」（慣用句）
「心の中に春風が吹いたようだ」（比喩）

「これで桜が全部散ってしまうな。」と言え
ばよかったとか、「花曇りって何。」ときけ
ばよかったとか。——「花曇りの向こう」

登場人物の行動・様子

例「お守りみたいな小さなビニール袋をポケット
トの上からそととなてた。」
——「星の花が降るころに」

会話文

会話文には、そのときの気持ちや、会話の相
手への気持ちが表れる。会話文の前後に描かれ
る様子にも着目する。

例「私は戸部君をにらんだ。『なんか用？』」
——「星の花が降るころに」

情景描写

文学作品の中では、人物の心情を反映させて
風景を描くことが多い。

例「晴れることを放棄したようなぼやけた空」
——「花曇りの向こう」

「白い乾いた一本道」
——「大人になれなかった弟たちに……」

Q2

新しい文学作品は、どういう観点で位置づけましたか。

A2

その時期、その瞬間だからこそ強く共感できる、みずみずしい感覚を
描き出した現代作家の書きおろし作品と、「生きる」意味や平和につい
て深く考えられる読書教材を位置づけました。

「花曇りの向こう」

瀬尾まいこ

「光る地平線」

魚住直子

「世界で一番の贈り物」

マイケル・モーパール

中学校で国語科の教諭をされていた作家
の瀬尾まいこさんに書きおろしをお願いし
ました。中学校に入学した四月の生徒の心
情に寄り添った物語です。転校し、新しい
環境の中で周りの友達と関係を築いてい
こうとするが、なかなかうまくいかない
「僕」。その「僕」の気持ちの変化を読み取っ
たり、題名に込められた意味を考えたりす
ることを通して、文学教材の基礎・基本を
学習することができる作品です。

一年の読書教材として、児童文学作家・
魚住直子さんの作品を掲載しました。作中
に登場する若いライオンと年を取ったライ
オン。この二頭の生き方や考え方に触れる
ことで、「生きる」ことの意味を考えたり、
自分なりの生き方を探ったりすることがで
きるでしょう。同時に、読書をする楽しさ
も味わえます。

二年の読書教材には、翻訳作品を位置づ
けました。第一次世界大戦中に実際にあっ
たクリスマス休戦が描かれています。敵味
方という互いの立場を超えた人間としての
交流を読み取る中で、平和や人とのきずな
について考えを深めることができる作品で
す。



「これで桜が全部散ってしまうな。」
と言えよかったとか、「花曇りって
何。」ときけばよかったとか。思いつ
くのは後になってからだ。

「花曇りの向こう」（1年）瀬尾まいこ



「どうしてきれいなのか、わかるか。」
「生きているからだ。」
若いライオンは、はっとした。
「光る地平線」（1年）魚住直子

新版教科書の説明文の特徴は何ですか。

A3 多様な分野の第一人者による書きおろし作品をはじめ、さまざまな文種、構成の文章をそろえています。また、論理的思考力を身につけるのに適した文章と併せ、効果的な「学習」(手引き)を設けています。

多様なテーマの書きおろし

幅広い分野における第一線の研究者、また、現代社会に対して問題意識をもった哲学者や評論家、ジャーナリストが書きおろした文章は、生徒が自身の視点を獲得していく足がかりとなります。

発達段階に合わせたさまざまな文種

さまざまな種類の文章を発達段階を踏まえて配列しています。事実の「説明」「記録」、主張を展開する「論説」「評論」などの文種の他、読書教材として各学年にノンフィクションの作品を、新たに位置づけました。また、図表・図版を効果的に使った文章も多数取り上げています。

論理的思考力を育てる学習課題

各教材の「学習」(手引き)では、「事実」と意見に着目する」「論理の展開を捉える」

「話すこと・聞くこと」「書くこと」にはどんな工夫がありますか。

A4 コンパクトな練習教材を増やし、スモールステップで着実に力をつけます。また、アクティブ・ラーニングに対応した構成や、学習意欲を引き出す題材を用意しました。

練習教材(絵画を分析する観点を学ぶ)



本教材(分析したことをもとに鑑賞文を書く)



などといった、論理的思考力を支える力を位置づけています。それぞれの力を身につけるのに適した課題を設け、生徒たちが興味をもって学習するとともに日常・社会生活の中で必要な思考力や判断力を育みます。

■説明的な文章の一覧【 】は文種

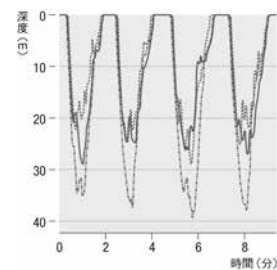
1年【説明】	ダイコンは大きな根?	稲垣栄洋
【説明】	ちょっと立ち止まって	桑原茂夫
【随筆】	空を見上げて	山中 勉
【記録】	シカの「落ち穂拾い」 ーフィールドノートの記録から	辻 大和
【説明】	幻の魚は生きていた	中坊徹次
【ノンフィクション】	桜守三代	鈴木嘉一
2年【説明】	生物が記録する科学 ーバイオリギングの可能性	佐藤克文
【論説】	モアイは語るー地球の未来	安田喜憲
【評論】	君は「最後の晩餐」を 知っているか	布施英利
【ノンフィクション】	小さな町のラジオ発 ー臨時災害放送局「りんごラジオ」	高橋 厚
【論説】	科学はあなたの中にある	最相葉月
3年【説明】	月の起源を探る	小久保英一郎
【論説】	「批評」の言葉をためる	竹田青嗣
【論説】	新聞の社説を比較して読もう	
【論説】	作られた「物語」を超えて	山極寿一
【ノンフィクション】	エルサルバドルの少女 ヘスース	長倉洋海
【論説】	誰かの代わりに	鷲田清一

鑑賞文(一年)の芸術作品は、美術の教科書(光村図書)と連携し、同じものを載せています。他教科と行き来しながら、効果的に学ぶことができます。批評文(三年)の素材は、身の回りに実際にある広告を取り上げ、生徒が意欲的に取り組み、社会生活にも目を向けるきっかけとなるようにしました。

他教科との関連



本物で学ぶ



「生物が記録する科学」(2年)
人間が観察することのできない場所を、記録計を取り付けた動物が調査する「バイオリギング」という新しい手法について、実際の調査に基づいて述べた説明文。動物たちの写真はもちろん、調査結果を表した図表も多数用いられています。